

事業所名	haguみしま		放課後等デイサービス 支援プログラム		作成日	2025 年	3 月	1 日
法人理念	笑顔と感謝の輪を作る							
事業所理念	豊かな心と伸びる力を育む 1. 愛情いっぱいハグをして心の豊かさ、穏やかさを大切に 2. 自ら伸びていこうとする力を最大限育めるサポートと環境づくり 3. 子ども達のもう一つの家の様な温もりある場所の提供							
支援方針	児童福祉法、放課後等デイサービスガイドラインに基づき、第一に安全保育に心がけ、伸び行く児童の限りなき将来を信じ、健康で意欲的な活動をさせ、自人も他人も大切に出来る児童を育てる							
営業時間	14 時	30 分	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	（なし） 迎えのみ （長期休暇期間は自宅に迎え）
	支援内容		具体的内容			該当する活動		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握 ・健康の増進</li> <li>リハビリテーションの実施</li> <li>生活習慣や生活リズムの形成</li> <li>基本的な生活スキルの獲得</li> <li>生活におけるマネジメントスキルの育成</li> <li>構造化等により生活環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。</li> <li>意思表示が困難であることなどの障害の特性及び発達過程・特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察</li> <li>日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの児童が持つ機能をさらに発達させながら、こどもに適した身体的、精神的、社会的支援</li> <li>睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援</li> <li>食べる意欲の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるように、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下の接触機能、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた</li> <li>自覚等に関する支援</li> <li>自分で何をするかアイデアを出しながら、自分の生活をマネジメントすることができるよう、こどもの意向を受け止めながら、自分で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康視診</li> <li>小集団活動（朝の会、主活動・散歩・帰りの会等）</li> <li>身辺整理</li> <li>着替え ・ 食事又はおやつクッキング</li> <li>年齢に応じた生活に必要な知識の習得と実践（公共交通機関の乗り方見方、職場見学等の体験）</li> </ul>				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動、動作の基本的技能の向上</li> <li>姿勢保持と運動、動作の補助手段の活用</li> <li>身体の移動能力の向上</li> <li>保有する感覚の活用</li> <li>感覚の補助及び代行手段の活用</li> <li>感覚の特性（感覚過敏や鈍麻）への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達や能力に合わせた歩行訓練 ・ 特性に配慮した環境設定</li> <li>位置覚の意識づけ（自分の手足、顔、背中や腹部等の位置の把握と協調運動）</li> <li>姿勢保持や上肢、下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持と、強化</li> <li>姿勢の保持や各種の運動、動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用</li> <li>自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上</li> <li>保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚を十分に活用できる遊び</li> <li>眼鏡や補聴器等の各種の補助機器やICTを活用、他の感覚や機器による代行的確にできる支援</li> <li>感覚特性（感覚過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーショントレーニング 模倣動作、サーキットトレーニング、トラポリンやバランスボール等の体幹を整えるあそび、Active Arcade、粗大運動等々</li> <li>スポーツリズム ・ ムーブメント</li> <li>ptによる個別療育</li> <li>レクリエーション（スポーツ・ゲーム）</li> <li>創作活動 工作・手芸・絵画・イラスト</li> </ul>				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知の特性についての理解と対応</li> <li>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</li> <li>行動障害への予防及び対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援</li> <li>視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す</li> <li>環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を促す</li> <li>物の機能や属性、形、色、音、が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図る</li> <li>数値、形の大きさ、量、色の違い等の習得</li> <li>感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動への対応の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題等の学習支援</li> <li>プログラミング</li> <li>ものの形や色を見比べる練習等を行い習得を目指す</li> <li>コーディネーショントレーニング・ビジョントレーニング 模倣動作、サーキットトレーニング、トラポリンやバランスボール等の体幹を整えるあそび、閉眼での呼吸、デュアルタスク、ストップスタート</li> <li>otによる個別療育（微細運動：手先指先能力の向上を図る）</li> </ul>				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの基礎的能力の向上</li> <li>言語の受容と表出</li> <li>言語の形成と活用</li> <li>人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</li> <li>コミュニケーション手段の選択と活用</li> <li>状況に応じたコミュニケーション</li> <li>読み書き能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援</li> <li>話した言葉や各種の文字、記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなどの言語を受容し表出する支援</li> <li>個々に配慮された場面における人との相互作用を通して共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上</li> <li>指さし、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるように支援</li> <li>障害の特性に応じた読み書き能力の向上</li> <li>各種の文字、記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に活用。</li> <li>コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作ことばカード</li> <li>個々の興味や得意、好みに合わせたコミュニケーション手段</li> <li>日常を共にし、様々なやりとりの中で信頼関係を深める</li> <li>STによる個別療育</li> <li>学習ゲーム</li> <li>活動を通して考え、どのような態様でも発声する意欲を促す</li> </ul>				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>アタッチメント（愛着行動）の形成</li> <li>情緒の安定</li> <li>他者との関わり（人間関係）の形成</li> <li>遊びを通じた社会性の発達</li> <li>自己の理解と行動の調整</li> <li>仲間づくりと集団への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援</li> <li>自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように「安心の基地」の役割を果たせるよう支援</li> <li>自身の感情や気持ち、生理的な状態に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう援助し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活ができるよう支援</li> <li>他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援</li> <li>模倣行動、感覚運動遊びから象徴遊びへの支援、一人遊びから協同遊びへの支援</li> <li>自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通して、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援</li> <li>集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>象徴あそび ごっこあそび、見立てあそび、つもりあそび等々</li> <li>協働あそび ブロック、積み木、ままごと、ごっこあそび等、複数の子どもが共通の目的のために協力して遊ぶ</li> <li>ソーシャルスキルトレーニング</li> <li>自己認知、社会的行動、コミュニケーションスキル</li> <li>グループワーク（ダイアログ）</li> <li>課外活動 社会体験、地域との関わり</li> </ul>				
家族支援	ご家族が子育てに関する悩みや困難を安心して相談できる環境を整え、家族の心理的サポートや必要な情報提供を行う			移行支援		併用幼稚園・保育園、進学先の学校や特別支援学校、相談支援事業所のそれぞれの相談支援員と共にご家族の意向を実現できるように連携し、情報共有と実践を繰り返して成長をサポートする		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>課外活動での関わり・地域の防災訓練へ参加</li> <li>就労支援サポートこねこの販売を通して良好関係の構築 等々</li> </ul>			職員の質の向上		【オンライン研修参加】児童館のまなび場・こくちーずプロの療育分野研修・療育のみかた・子ども発達支援研究会等々 【3か月に1度の職員研修】研修報告と情報共有・ディスカッション・実践計画の作成 【虐待研修】年4回 【社内研修】スキルUP・チームビルディング		
主な行事等	【季節の行事】 ●入所・進級・進学式 ●hagu sports Day（運動会） ●遠足（放デイ） ●SUMMER Festival ●課外活動（夏休み期間の放デイ） ●作品展（児発） ●クリスマス音楽会 ●餅つき大会 ●伝承遊び ●七草がゆ ●花餅作り ●部分・豆まき ●ハロウィンクッキー作り 【毎月の行事】 ●ひな祭り ●チャレンジ認定式（修了式） ●遊難訓練							